

第5回グローバルヘルス政策研究センターセミナー 開催のお知らせ

来る2017年5月22日、第5回グローバルヘルス政策研究センターセミナーを開催いたします。今回は、イギリス・ロンドンに本社を置く世界有数の規模を持つグローバル製薬企業 グラクソ・スミスクライン株式会社（GSK）代表取締役社長フィリップ・フォシェ氏を講演者にお迎え致します。GSKは、「世界中の人々がより充実して心身ともに健康で長生きできるよう、生活の質の向上に全力を尽くすことを使命」に掲げ、科学に根ざしたグローバルヘルスケア企業として医療用医薬品、ワクチンおよびコンシューマーヘルスケア製品の研究開発に携わっています。特にワクチン事業は世界最大規模であり、世界中でGAVI（ワクチン予防接種世界同盟）やUNICEF（国連児童基金）をはじめとした多くのパートナーと緊密に連携を組み、世界の人々の健康増進と疾病予防に貢献しています。今回のセミナーでは、今年1月にスイスで設立された日本政府もパートナーをつとめるCEPIについて、GSKの役割や貢献などもお話しいただきます。

CEPI-the Coalition for Epidemic Preparedness Innovations-について
“CEPI is a new alliance to finance and coordinate the development of new vaccines to prevent and contain infectious disease epidemics.”

日時	2017/5/22（月曜日）午後12時～13時30分
会場	国立国際医療研究センター・研修センター棟1階 グローバルヘルス政策研究センター
言語	英語（通訳なし）
テーマ	CEPIとグローバル企業の戦略・国際医療への貢献
対象者	グローバルヘルスや保健医療政策・国際協力などに興味のある方
定員	50名（定員になり次第登録を締め切らせていただきます）
参加費	無料
申込方法	事前登録制

第5回グローバルヘルス政策研究センターセミナー 開催報告（2017/5/22開催）

去る2017年5月22日、「第5回 グローバルヘルス政策研究センターセミナー」が開催されました。

今回はイギリス・ロンドンに本社を置く世界有数の規模を持つグローバル製薬企業グラクソ・スミスクライン株式会社（GSK）代表取締役会長フィリップ・フォシェ氏を講演者にお迎え致しました。

NCGM 国際医療協力局局長・鎌田光明氏より感染症流行対策イノベーション連合（CEPI）についてのイントロダクションでセミナーは始まり、続いて、フォシェ氏には「CEPIの例による、グローバルヘルスにおける取り組みに対する企業連携」と題した講演をしていただきました。特に感染症に関わる製薬企業の取り組みについては具体的に、大変分かり易く解説してくださいました。

注目度の高い講演であったため、NCGM関係者のみにとどまらず、医療従事者、製薬会社等、国際保健医療に関心を持つ約40名の方々にご参加いただき、大変盛況なセミナーとなりました。

セミナー終了後、参加者の一人からは、「エボラ出血熱や、日本でも発症例が出たデング熱などの感染症の世界的脅威と、産官学が連携した予防対策の必要性についてよくわかりました。また、利益追及型の製薬会社とは違い、GSKが"世界中の人々の健康への貢献"という大きなゴールのもと、様々な取り組みを行っていることが具体的にわかり、とても勉強になりました。」（生命科学専攻/学生）というコメントも寄せられました。（文責：岩城洋子・上地真泉）

